

第1回「タスマニア記念植樹の旅」

—タスマニアの森林資源を訪ねて—

—ごあいさつ—

タスマニアはオーストラリア大陸の南にある北海道位の大きさの島。豊かな自然が残され、島の約 50%が森林、40%が国立公園と自然保護地区で、特に西部と南西部の苔むした温帯雨林と岩峰などの景観は、生き残った太古の自然として世界遺産に登録されています。

昨年、タスマニア州政府の高官が来研し、森林資源の現状と今後の植林政策のための現地調査の依頼を受けました。私が 30 年以上、日本各地や海外で実践している「本物の森づくり」は、その土地の自生の樹種を自然の掟に従って混植・密植することで、その土地本来の森を再生させるものです。この森づくりをタスマニアで実施するために、10 日間にわたり、現地調査を行いました。その結果、様々なことが判明しましたが、タスマニアの潜在自然植生はノフアグス(南極ブナ)が基本であり、大木で、あたかも昔からあったように見える現存植生のユーカリは、自然や人間の攪乱があつて急速に増殖した二次林であることもわかって来ました。

タスマニア州政府は今回、生態学センターとタイアップし、タスマニアの大自然、森林を実際に歩いて頂き、持続可能な森林管理を体験を通じて理解し、土地本来の樹種であるノフアグス(南極ブナ)を中心とする植林を実施するツアーを企画しました。現地ではタスマニア州森林局及び観光局が総力をあげて皆様のお世話をいたします。地域固有の自然と伝統を生かしつつ、最新の環境科学を取り入れ、森林の持つ意味を再確認し、確実な未来のための森づくりに、一人でも多くの皆様に参加して頂ければと思います。

(財)地球環境戦略研究機関
国際生態学センター長
宮 脇 昭

【実施概要】

1. 日程 :別紙日程表参照
2. 訪問都市 :ホバート、クレイドルマウンテン、ローセストン、シドニー
3. 期間 :平成 20 年 12 月 13 日(土)～12 月 21 日(日) 9 日間
4. 費用 :お一人 258,000円
(一人部屋使用の場合は6万円のプラスとなります。また、燃料サーチャージが別に必要となります)
5. 申込締切 :平成 20 年 11 月 7 日(金)
(別紙申込用紙にご記入の上、郵送、ファックス又はメールにて応募)

【申し込み・問い合わせ先】

(財)地球環境戦略研究機関・国際生態学センター企画部 (担当:新川 眞)
〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20
TEL:045-322-1223 FAX:045-322-1225 E-Mail:ecoinfom@jise.jp